

第15期 中間報告書

2010.10.1~2011.3.31

dwango

ネットに生まれて、ネットでつながる。

代表取締役社長 小林 宏

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

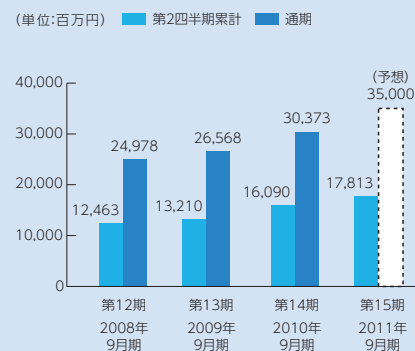
また、このたびの東日本大震災により被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早く復興されますよう心からお祈り申し上げます。

第15期第2四半期(2010年10月1日から2011年3月31日まで)における業績の概況についてご報告いたします。

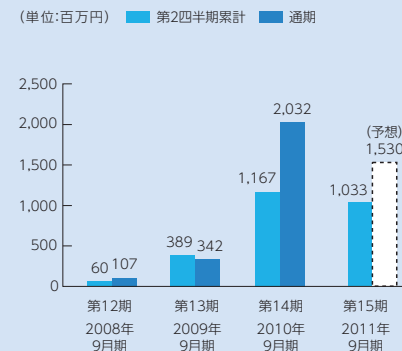


財務ハイライト

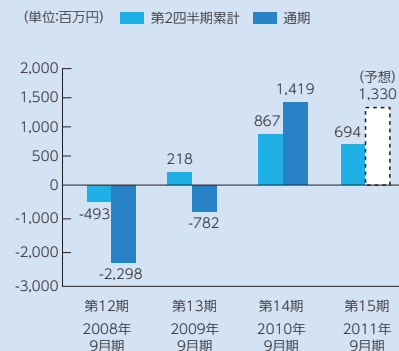
連結売上高



連結経常利益



連結四半期(当期)純利益



各事業の概況ですが、注力事業のポータル事業(ニコニコ動画)においては、ライブ映像を配信する人気サービス「ニコニコ生放送」を中心にコンテンツの拡充を図り、また、テレビやラジオなどの既存メディアとの積極的な取り組みによりネットメディアとしての認知度向上に努めました。その結果、2011年1月、ニコニコ動画の登録会員数は2,000万人を超え、プレミアム会員数も順調に推移し、着実に成長しております。

モバイル事業においては、携帯向け音楽配信市場が縮小している中、着うた®・着うたフル®サイトでの人気楽曲の権利獲得や効果的なプロモーションを実施しました。

このほか、ニコニコ動画との連携や、スマートフォン向けに生活情報系アプリを提供するなど、ユーザーニーズを反映したサービス拡充にも取り組み、新たな会員の獲得を図りました。

ゲーム事業においては、当社グループの主力シリーズタイトルのパッケージゲームや海外人気タイトルの国内

提供、他社プラットフォーム向けソーシャルゲームなどが収益に貢献いたしました。しかしながら、依然厳しい国内家庭用ゲーム市場環境の影響により、全般的には軟調となりました。

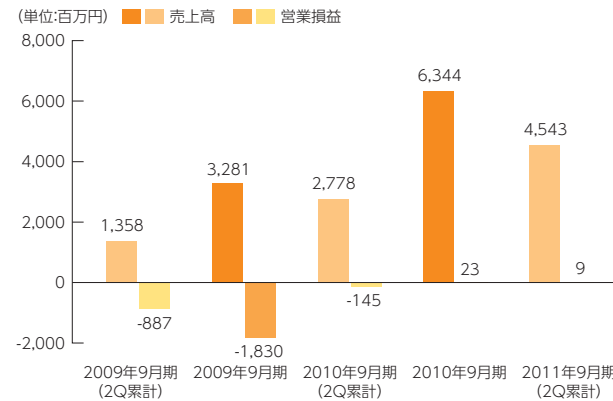
以上の結果、当第2四半期連結業績は、売上高178億13百万円(前年同期比10.7%増)、営業利益11億35百万円(前年同期比3.9%減)、経常利益10億33百万円(前年同期比11.5%減)、四半期純利益は6億94百万円(前年同期比20.0%減)となりました。

今後も、人と人とがつながる様々なコミュニケーション手段を提供すべく、ネットワーク技術を活かした斬新で魅力的なサービスを展開し、持続的な成長を目指してまいります。

株主の皆様には何卒ご理解のうえ、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

ポータル事業

売上高および営業損益



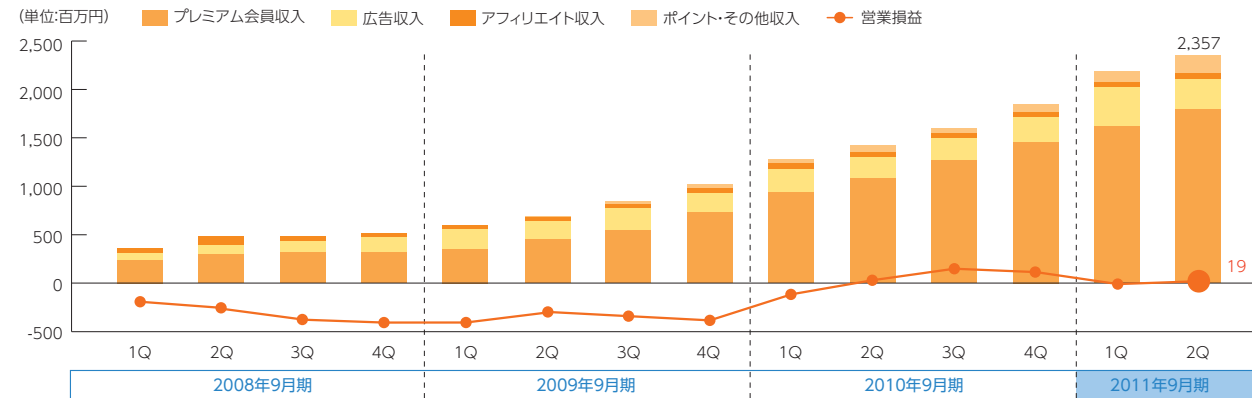
動画コミュニティサイト「ニコニコ動画」は、引き続き順調に売上を拡大しています。プレミアム会員数の増加を牽引している「ニコニコ生放送」は、エンタテインメントからスポーツ、政治、時事問題まで幅広い分野のコンテンツをタイムリーに配信し、ネットメディアとしての認知度も高まっています。ナショナルクライアントや地上波メディアとのタイアップにも注力し、企業価値向上に努めました。これらの取り組みにより、広告収入やポイント収入なども着実に売上を伸ばしています。

以上の結果、売上高は45億43百万円、セグメント利益（営業利益）は9百万円となりました。

当連結会計年度よりマネジメントアプローチを導入し、各セグメントへの間接費用の配賦およびセグメント間での一部事業の移動をおこなったため、セグメント別数値に継続性がないことから売上高および営業利益の前年同期比は記載を省略しています。

「ニコニコ動画」の業績推移

売上高および営業損益推移



「ニコニコ動画」の会員数推移



※プレミアム会員=有料会員・・・月額525円またはチケット課金90日1,680円にて、専用回線での快適な視聴や生放送の優先視聴ほか様々な特典を受けられる。

ネットメディアとしての取り組み クローズアップ現代～ネット拡大スペシャル～ (2011年3月10日)

NHK総合の情報番組「クローズアップ現代」と「ニコニコ動画」のコラボレーションが実現し、2時間半に及び特別番組が放送されました。「ニコニコ生放送」での視聴者は20万人を超え、約38万件のコメントが書き込まれました。コラボレーションの内容は、まず「クローズアップ現代」の従来の番組放送開始前に「ニコニコ生放送」にてNHKスタジオの模様を実況しながら番組を紹介、そして番組本編放送中はテレビとインターネットをつないだクロストークを展開しました。さらに本編終了後には、NHK同番組プロデューサーをはじめ、出演者らが東京・原宿のニコニコ生放送スタジオに駆けつけ、続編として「ネットとテレビの未来」をテーマに討論番組を展開し、「ニコニコ生放送」で配信しました。このような取り組みのもと、3月11日の震災直後より、NHKおよびフジテレビの震災関連ニュースを「ニコニコ生放送」で同時配信するなど、インターネットとテレビの新たな連携を生み出す一歩につながりました。



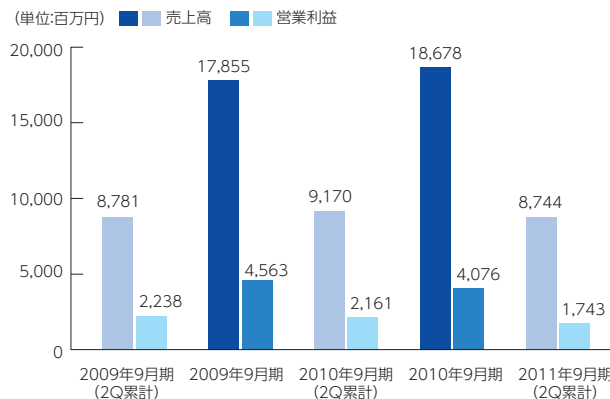
大相撲「五月技量審査場所」(2011年5月8日～22日)

インターネット初の試みで、序の口から幕内までの全取り組みを無料ライブ配信。15日間にわたる生放送の視聴者数は、合計で約160万人にも上りました。応援コメントをはじめ、相撲観戦初心者と思われる質問や相撲ファンによる解説など、数多くのコメントが書き込まれ、視聴者同士の交流とともに大盛況となりました。



モバイル事業

売上高および営業利益



モバイル事業の主力となる音楽系サイトでは、人気アーティストの楽曲配信の権利獲得や、タイアップ企画および入会につながる効果的なプロモーションを実施しました。音楽系以外では、スマートフォンに対応したコンテンツの提供に取り組み、新規ユーザの獲得を図りました。以上の結果、売上高は87億44百万円、セグメント利益(営業利益)は17億43百万円となりました。今後の取り組みとしては、拡大するスマートフォン市場へ向けた新たなサービスの企画・開発に注力するとともに、引き続き既存コンテンツの強化に努めます。

当連結会計年度よりマネジメントアプローチを導入し、各セグメントへの間接費用の配賦およびセグメント間での一部事業の移動をおこなったため、セグメント別数値に継続性がないことから売上高および営業利益の前年同期比は記載を省略しています。

PICK UP
美人天気

「美人天気」は、『どうせ天気を見るなら楽しく見たい!』をコンセプトに“天気”と“美人”を組み合わせた癒系天気サービスです。

「美人天気iPhoneアプリ版」は、2011年1月17日の開始から3ヶ月間で40万ダウンロードを突破。また、アプリ公開24時間以内において「App Store」の無料アプリダウンロードランキング総合1位を獲得するなど、人気のサービスとなっています。

2011年4月7日には「美人天気Androidアプリ版」を開始、同時に東京電力エリアの電力使用状況を美人がお知らせする機能をiPhoneおよびAndroidアプリ版に追加しました。



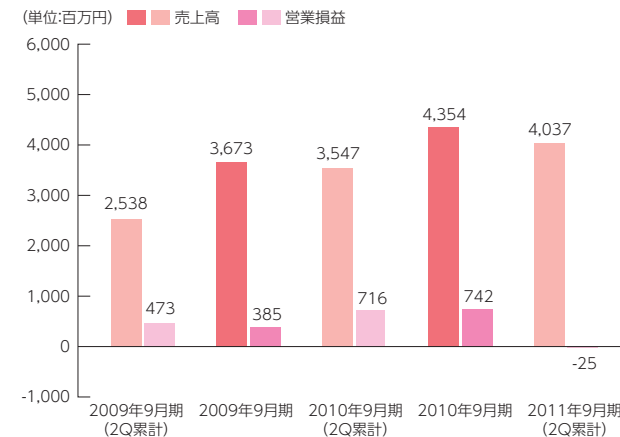
※Android アプリ版
Android 2.1 以上対応
※iPhone アプリ版
iOS 4.0 以上推奨
※携帯サイト版
docomo, au, SoftBank 対応

©DWANGO CO., Ltd.
©bijin-tokei

<http://bijintenko.jp/>

ゲーム事業

売上高および営業損失



国内タイトルでは「喧嘩番長5」や「侍道4」、海外タイトル(国内仕様化)では「DRAGON AGE」など、人気シリーズタイトルを中心としたパッケージゲームが売上を牽引。また、他社プラットフォームに提供したソーシャルゲーム「喧嘩番長 全国制覇」が貢献しました。

以上の結果、売上高は40億37百万円、セグメント損失(営業損失)は25百万円となりました。

国内家庭用ゲーム市場環境が依然厳しい中、今後も人気シリーズタイトルに絞り込んだパッケージゲームを中心に提供していきます。

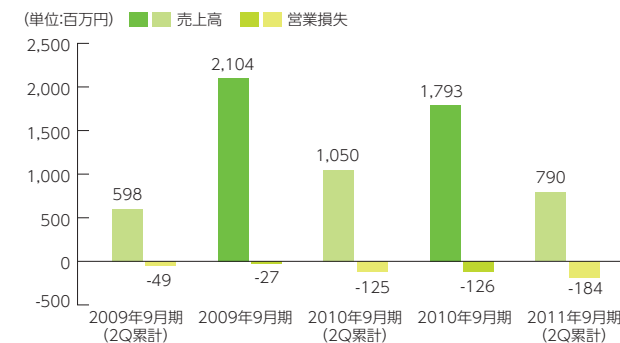
発売元：株式会社スパイク



©Spike All Rights Reserved.

その他の事業

売上高および営業損失



当社グループ子会社の音楽出版事業において、アニメ分野や「ニコニコ動画」発の人気コンテンツのCD・DVD化による著作権利用収入や、ニコニコミュージカルなどのチケット収入が売上に貢献しました。

その結果、売上高は7億90百万円、セグメント損失(営業損失)は1億84百万円となりました。

今後も引き続き、ユーザニーズの高い人気コンテンツの商品化の権利獲得を積極的におこなっていきます。

また、ニコニコミュージカルなどのニコニコ動画関連イベントの収益力強化に努めます。

四半期連結貸借対照表

科目	当第2四半期連結会計期間 (2011年3月31日現在)	前期 (2010年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	16,109	16,212
現金及び預金	5,874	4,054
受取手形及び売掛金	6,959	6,288
有価証券	1,507	3,505
たな卸資産	851	1,144
その他	920	1,223
貸倒引当金	△ 3	△ 4
固定資産	7,937	5,586
有形固定資産	1,716	1,149
無形固定資産	2,189	1,107
投資その他の資産	4,031	3,328
投資有価証券	2,974	2,713
その他	1,060	615
貸倒引当金	△ 3	△ 0
資産合計	24,047	21,798

科目	当第2四半期連結会計期間 (2011年3月31日現在)	前期 (2010年9月30日現在)
(負債の部)		
流動負債	6,646	5,895
支払手形及び買掛金	1,960	1,914
短期借入金	1,226	932
未払法人税等	573	160
賞与引当金	403	400
ポイント引当金	15	—
その他の引当金	—	40
その他	2,466	2,447
固定負債	437	40
負債合計	7,084	5,936
(純資産の部)		
株主資本	15,690	15,370
資本金	10,072	10,072
資本剰余金	9,028	9,402
利益剰余金	△ 1,931	△ 2,625
自己株式	△ 1,479	△ 1,479
評価・換算差額等	△ 0	6
少数株主持分	1,273	484
純資産合計	16,962	15,862
負債純資産合計	24,047	21,798

四半期連結損益計算書

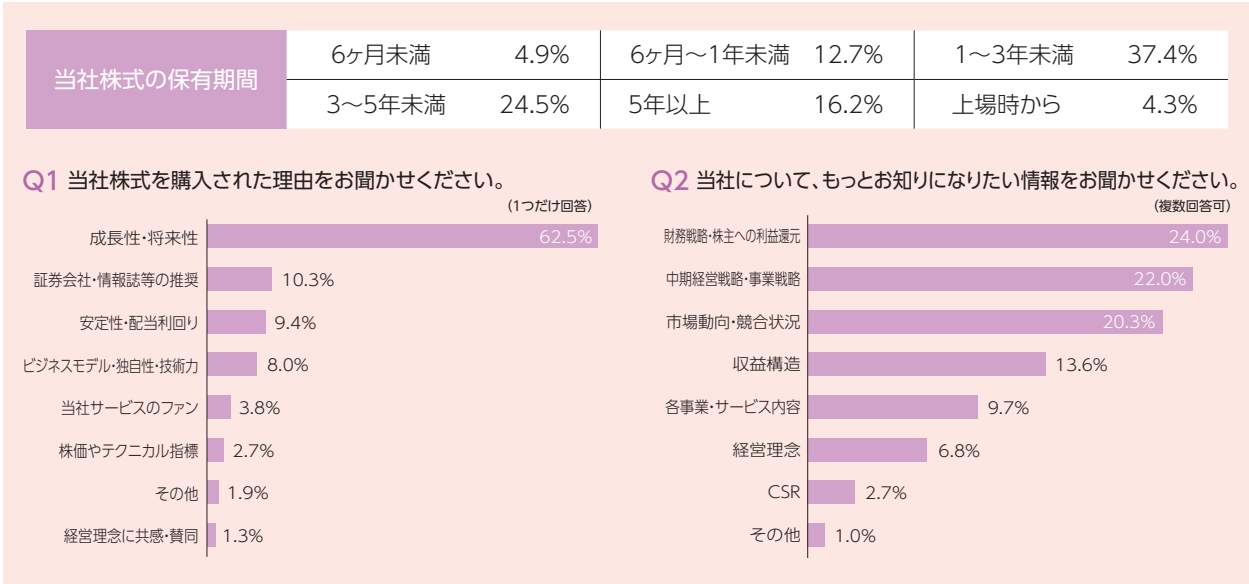
科目	当第2四半期連結累計期間 (自 2010年10月1日 至 2011年3月31日)	前第2四半期連結累計期間 (自 2009年10月1日 至 2010年3月31日)
売上高	17,813	16,090
売上原価	10,640	9,139
売上総利益	7,173	6,950
販売費及び一般管理費	6,038	5,768
営業利益	1,135	1,181
営業外収益	14	15
営業外費用	116	29
経常利益	1,033	1,167
特別利益	194	125
特別損失	152	148
税金等調整前四半期純利益	1,076	1,144
法人税、住民税及び事業税	394	133
法人税等還付税額	△ 20	—
法人税等調整額	△ 0	108
少数株主損益調整前四半期純利益	702	—
少数株主利益	8	34
四半期純利益	694	867

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当第2四半期連結累計期間 (自 2010年10月1日 至 2011年3月31日)	前第2四半期連結累計期間 (自 2009年10月1日 至 2010年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,563	800
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,665	△ 1,338
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 380	△ 375
現金及び現金同等物に係る 換算差額	3	0
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 478	△ 913
現金及び現金同等物の 期首残高	7,360	8,382
現金及び現金同等物の 四半期末残高	6,881	7,469

「株主様アンケート」集計結果のご報告 当社からの送付数:11,870名様 株主様からのご返送数:501名様

第14期定時株主総会決議ご通知に同封の「株主様アンケート」につきましては、数多くの株主様からご返信をいただき、誠にありがとうございました。簡単ではありますが、集計結果をご報告申し上げます。



●「株主様アンケート」の結果をふまえ、今後のIR活動の向上に努めてまいります。

利益分配に関する基本方針

当社は、株主の皆様をはじめとするステークホルダに対する利益配分を継続的に実施することが重要であり、その前提として永続的な企業経営をおこなうことが必要であると考えております。そのためには、企業体質の強化、将来の事業展開に備え内部留保を充実させることが必要条件であると考えております。

その上で、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識しており、各期の経営成績を考慮に入れて検討してまいりたいと考えております。

配当金の状況 (2011年3月31日現在)		
	1株当たり期末配当(円)	発行済株式数(株)
2011年9月期(第15期) 予定	2,000	198,001
2010年9月期(第14期)	2,000	198,001
2009年9月期(第13期)	2,000	198,001
2008年9月期(第12期)	2,000	203,836
2007年9月期(第11期)	2,000	203,287

当社ホームページのご紹介

ホームページのIR情報サイトでは、決算情報やIR資料、最新のニュースリリースなどを掲載しています。

 <http://info.dwango.co.jp/>



メールニュース(無料)

IR関連の最新情報をメールでお届けするサービスです。パソコンのEメールアドレスをお持ちであれば、どなたでもご登録いただけます。

トップページ右側「IRニュース」欄内

「IRニュース配信」からご登録

アンケートにご協力ください

ホームページでは随時アンケートを実施しております。この機会に是非、お声をお聞かせください。

ホームページ「IR情報」サイト

左側のメニューバー最下段「個人投資家のみなさまへ」

「アンケートにご協力ください」からご回答いただけます。

株式の状況 (2011年3月31日現在)

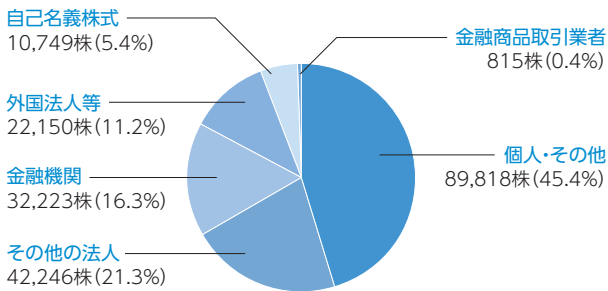
発行可能株式総数	528,000株
発行済株式総数	198,001株
株主数	9,510名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社	40,900	20.65
川上 量生	34,395	17.37
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,383	5.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	11,224	5.66
森 栄樹	10,100	5.10
ジェー・モルガン・チェス・オパバ・ハイマー・ジャスティック・レンディング・アカウント	7,500	3.78
太田 豊紀	4,750	2.39
小林 宏	1,960	0.98
ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー・505025	1,934	0.97
ドイツ・バンク・アーザー・ロンドン・ピー・ピー・ノトリティク・ライアンツ・613	1,780	0.89

※上記の他、自己株式10,749株を保有

所有者別株式数比率



IRカレンダー (予定) ※日程の詳細は、当社ホームページに随時掲載いたします。

第 1 四 半 期			第 2 四 半 期			第 3 四 半 期			第 4 四 半 期		
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	通期 決算発表	株主総会 期末報告書 配布		第1四半期 決算発表			第2四半期 決算発表	中間報告書 配布		第3四半期 決算発表	

株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日
定時株主総会	毎年12月
期末配当基準日	9月30日 ※その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
公告方法	電子公告により行う 公告掲載 URL http://info.dwango.co.jp/ir/ ※なお、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1 浜町センタービル
TEL: 03-3664-5477 FAX: 03-3664-5478
E-mail: ir@dwango.co.jp URL: <http://info.dwango.co.jp/>

会社概要 (2011年3月31日現在)

設立年月日	1997年8月6日
資本金	100億7,292万円
従業員数	単体 565名 連結 895名
事業内容	次世代ネットワークエンタテインメントを対象としたコンテンツおよびシステムの企画、開発、運用、サポート、コンサルティング

役 員	代表取締役会長	川上 量生
	代表取締役社長	小林 宏
	取締役	夏野 剛
	取締役	麻生 巖
	取締役	佐藤 辰男
	取締役	千葉 龍平
	監査役(常勤)	小池 哲
	監査役	鈴木 祐一
	監査役	永野 明
	監査役	藤田 隆

子 会 社	株式会社ドワンゴ・ミュージックエンタテインメント
	株式会社ニワンゴ
	株式会社モバイルコンテンツ
	株式会社スカイスクレイパー
	株式会社ゲームズアリーナ
	株式会社チュンソフト
	株式会社スパイク
	株式会社ティーアンドイーソフト
	ゲームズアリーナ有限責任事業組合2号
	ai sp@ce製作委員会
	多玩國股份有限公司(台湾 台北市)
	株式会社CELL

関 連 会 社	株式会社AG-ONE
	株式会社5pb.

